

# 職人育成塾の展開と今後の活動方針

平成30年10月24日（水）

一般社団法人利根沼田テクノアカデミー

## （一社）利根沼田テクノアカデミーの設立

9年前から自社において板金技能訓練センターを立ち上げ、板金職人の育成を行ってきました。その理由は若者に「板金職人の魅力」を伝えたい思いと、もの作りに対する意識を高め、技術・技能を確実に教えるためでした。

この取り組みが、国土交通省・群馬県沼田市及び各業界団体に支援をいただき、利根沼田テクノアカデミーを平成28年4月より開校する運びとなりました。



校舎

### ●事業内容

1. 各職種の技術・技能を時代に即した施工教育の徹底
2. 日本人及び外国人技能実習生の指導教育
3. 商品開発会議の実施
4. 授業プログラム、授業教材の作成及び効果の検証
5. 教育プログラム・システムの開発
6. 出前講座など、広報活動の実施



室内施設

### ●カリキュラム 3カ月

「基礎訓練」  
建設現場で行う基本的な作業や足場の上を歩く訓練、現場でのマナーなどを繰り返し訓練し、現場で安心して働けるよう基本動作を身につけ成長のスピードを上げます。

「実践訓練」  
各職種の施工を実践的に教え、現場での即戦力化を目指します。同時にもの作りの面白さを伝え、将来的なやる気を育てます。

# 各 コ ー ス の 紹 介

《4月～6月》



《大工コース》



《板金コース》



《左官コース》  
《年間》

《7月～9月》



《水道設備コース》



《瓦コース》



《ドローン技能訓練》

# 基 礎 訓 練

《ビス打ち訓練》



《歩行訓練》



《マスキング訓練》



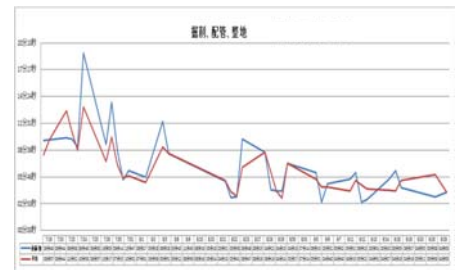
《瓦敷き並べ訓練》



《左官塗壁訓練》



《タイム測定分析》



# 実践訓練

《大工コース》



《板金コース》



《水道設備コース》



《瓦コース》



4

## 今回お世話になった左官コースの実践訓練

《鏝塗訓練》



《擬石訓練》



《土間コンクリート均し訓練》



《屋外足場上塗壁訓練》



5

# 今 後 の 活 動 方 針

## 《 メーカー連携会議開催 》

建設業界の人材不足はますます深刻化している中で、今後我々建設業界だけの議論や取組みだけでなく、現場を施工する職人と資材を製造する製造メーカー（メーカー）と連携し新たな建設業界を創造し、幅広く若者に「建設業の魅力」を伝える為メーカー連携会議を発足する。具体的には施工方法においてはメーカー独自の認定工法を訓練習得し、人口減少や高齢化に伴う担い手不足の対策における施工能力については、省力化工法を同時に進めていきたい。

国土交通省では、法制度・許可ワーキンググループにおいて10年先の建設産業が「生産性」を高めながら「現場力」を維持向上するための施工合理化技術の検討会を立ち上げました。利根沼田テクノアカデミーでは今年度より、施工合理化技術を具体的に取り組むため、下記5つのテーマを掲げ、実現していきます。

1. メーカー独自認定工法との連携について
2. メーカー連携会議による商品・工法開発
3. 外国人建設技能人材の指導育成
4. ドローン等による建築へのICT活用
5. 建設業担い手確保について

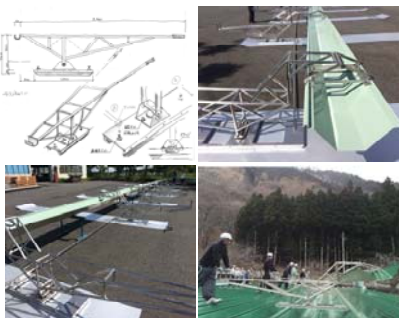


《 メーカー連携会議準備会開催 》 33社参加

# 商 品 開 発 会 議 に よ る 商 品 ・ 省 力 化 工 法

沼 田  
テクノキャリー

省 力 化 工 法



今後大型建築物施工において最小限の人数で安全に折板の運搬を行うために開発し、試験実施を行った。

地上での試験だったため、屋根上での摩擦抵抗力や踏み込む力などの条件が揃えば問題なく省力化工法の一つとして取り入れられると考えられる。

沼 田  
オフグリットモデル

省 エ ネ 工 法



沼田オフグリットによる環境負荷低減成果をアセアン諸国にアピールでき、日本式の質が高く安全な独立電源。

自立発電装置のため、国内では災害時、国外では連係の難しい地域でも設置できる。

リサイクルされたバッテリーを活用する事による環境負荷低減。

沼田リサイクル  
シャモット

省 力 化 工 法



沼田リサイクルシャモットを活用する事により軟弱地盤、埋め立て地盤の液状化現象を抑制できる。

工事においてもRC-40より軽量なことから作業者の負担軽減になる。

粒子粒度が安定していることから締固めが容易で熟練技能者でなくとも工事品質が安定する。

# 外国人建設技能人材の指導・育成

## 外国人建設技能人材に関する入国前から帰国後に係る研修の実施

### 入国前研修

《概要》  
日本入国前に日本語教育、生活教育、規律教育、安全衛生教育、CAD基礎教育の実施



《場所》  
CMDC(フィリピン・カビテ市)

《効果》  
・入国前に日本建築、仕事の流れを事前に把握することにより不安を低減  
・入国後の技能実習にスムーズに取り組める

### 入国後研修

《概要》  
日本入国後すぐに入校し、よりレベルの高い技能訓練を行い基礎技能実習を中心に実施



《場所》  
利根沼田テクノアカデミー

《効果》  
・基礎を中心に実習することにより体で覚えられる  
・基礎から応用への展開が広げやすい

### 帰国前研修

《概要》  
母国帰国前に再度アカデミーに集まり現地国(母国)で多能工化となるべく電気、ガスの安全衛生も含めた学科を学ぶ



《場所》  
利根沼田テクノアカデミー

《効果》  
・日本における質の高い安全衛生を基本に実施することによる知識を習得できる  
・帰国後の技能実習にスムーズに取り組める

### 帰国後研修

《概要》  
帰国後に再度CMDCにて多能工化となるべく電気、ガスの技能研修を実施



《場所》  
CMDC(フィリピン・カビテ市)

《効果》  
・ニーズの高い日本式技能習得者と電気・ガスが扱える多能工技能士となる

8

# 実施訓練における奉仕活動

本年度より、沼田市の公共施設修繕工事をテクノアカデミー訓練生が、実施訓練の一環として奉仕訓練を行いました。訓練生は当校の施設で3カ月間の訓練を行いますが、今回の目的は2つあり、卒業前に実際の現場を体験させ卒業後の現場作業(実際の仕事)に生かしてもらう事と、もう一つは、奉仕活動として修繕工事をおこなう事により、沼田市の公共施設が少しずつでも整備されていく事です。

今回は沼田市立南中学校のトイレのドア修繕、タイルの張替え工事を行ない、沼田市立升形小学校では避難用通路がすべて危険な為すべり止めタイルを張って防ぐことができました。また南郷の曲屋では、お客さんが入る管理棟入り口に雨樋を取り付けました。訓練生は実際の現場を体験でき、お互いに知識を共有し助け合いながら取り組み真剣に作業を行っていました。緊張感のある有意義な奉仕訓練となりました。

これからも沼田市と連携し、奉仕訓練を継続していきます。

《南郷の曲屋》

《沼田市立南中学校》

《沼田市立升形小学校》



9